

とめ 登米から止めよう温暖化

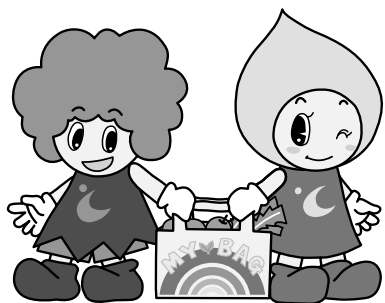
と 登米市の地球温暖化対策

登米市環境基本条例を制定

市では、今年3月に環境基本条例を制定して4月から施行しました。条例に掲げた基本理念は、「地域環境の保全と創造」「持続可能な社会の形成」「地球環境保全の推進」の3つです。この中から「地球環境保全の推進」の一環として取り組んでいる、「登米市の地球温暖化対策」について紹介します。

＜市民と協働で新エネ・省エネを＞

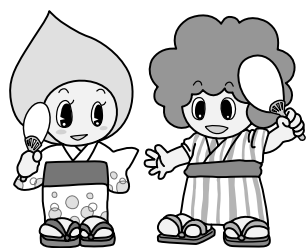
市で実施する二酸化炭素の排出量を減らす対策は、新エネルギー導入と省エネルギー推進の2つが柱となっています。新しく建設する公共施設には、太陽光発電装置などを取り入れるほか、省エネルギー仕様での設計を行っていく方針です。また、市民皆さんの協力をいただきながら、廃食油から再生した「バイオ・ディーゼル燃料」を市民バスに活用して軽油消費量を年間6万9千ℓ減らすなど、バイオ燃料の積極的な導入を進めています。このほか、市役所から率先して省エネルギーを進めるために、地球温暖化対策優先実行計画を定める予定で、環境マネジメントシステムを導入するなどの準備も進めています。二酸化炭素の排出を減らすためには、一人一人が日常生活の中で省エネルギーに努めることが最も重要な鍵となっています。冷暖房の使用を控え、電気や水道、ガスをこまめに切ったり止めたりするだけでもかなりの効果があります。また、ビニールやプラスチック製品なども石油から作られていますので、使う量を減らせばそれだけ省エネルギーにつながります。レジ袋を例にすると、一人が買い物の際に受け取る枚数は、年間平均260枚に達しており、これは石油4.3ℓ分に相当します。つまり、市全体では年間約38万ℓの石油を燃やしているのと同じ計算になります。買い物の際には、マイバッグ（自分の買い物袋）やマイバスケット（自分の買い物かご）を用意し、レジ袋の削減に努めましょう。



登米市環境キャラクターの「トメル君」(左)と「オトメちゃん」

＜一人1本の木を植えよう＞

大気中の二酸化炭素は、樹木が成長する際に吸収されるので、市では森林整備や緑化に努めるなど二酸化炭素の吸収対策にも力を入れています。身近なところに木を植えることは、誰もができる立派な地球温暖化対策です。市民がみんなで一人1本の木を植えれば、約30%の山に植林するのと同じ効果があり、これは石油を年間約8万2千ℓ（1本当たり約0.9ℓ）節約するのと同じ効果があります。庭などに木を植えて大事に育ててみませんか。



＜市役所ではクールビズ実施中＞

市では、地球温暖化対策の一環で、6月から9月まで「クールビズ」を進めています。期間中は、職員もノーネクタイ、上着なしで勤務していますので、ご理解をお願いします。市民皆さんも夏は涼しい服装で、冷房の設定温度を28℃以上にするようご協力ください。

＜9月13日は「登米市民環境の日」＞

登米市環境基本条例では、1985年9月13日に伊豆沼・内沼がラムサール条約に指定登録されたのを記念して、9月13日を「登米市民環境の日」と定めました。市では、9月13日に登米市民環境の日制定記念式典を行うほか、その前後で環境保全への理解を深めてもらうためのさまざまな行事を予定しています。また、一斉清掃や自然観察会、宮城教育大学と連携した環境教育指導者研修会などにも力を入れていく予定ですので、ぜひこれらの行事に参加して力を合わせて市の豊かな環境を次の世代に残していきましょう。

登米市環境キャラクター「トメル君」「オトメちゃん」は、営利・非営利を問わず、市民や市内の事業者が環境保全活動のシンボルとした使用や、環境負荷の低減に役立つ商品の表示などに使用することができます。

使用に当たっては、手続きが必要ですので、詳しくは市ホームページをご覧ください。市民生活部環境課までお問い合わせください。

【問い合わせ】

市民生活部環境課 ☎ 0220 (58) 5553

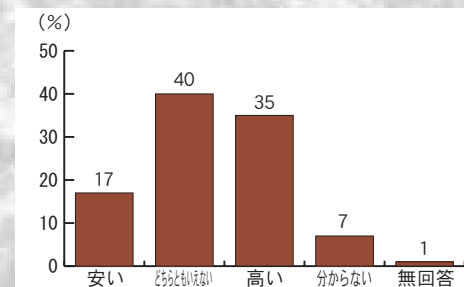
安全・安心な水を皆さんに届けます

市では、市民皆さんへより充実した水道事業のサービスを提供するため、市内の20歳以上の市民を対象に昨年12月から今年の1月にかけて、水道に関するアンケート調査を実施しました。

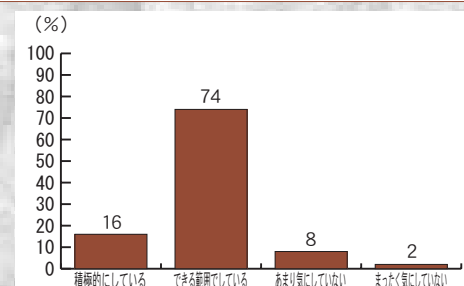
日ごろ、水道を利用していらっしゃる市民皆さんが「登米市の水道」についてどのように考えているのか、アンケートの集計結果がまとまりましたので、その内容について報告します。

【調査期間】平成18年12月23日～平成19年1月31日
 【調査対象者】20歳以上の市内に住んでいる市民 ※水道モニターの近隣世帯でモニター一人当たり10人程度
 【アンケート票の設問数】19問
 【調査方法】水道モニターへ調査、回収を依頼
 【回収数】196人

【問】現在の水道料金は、ほかの公共料金と比較してどう思いますか



【問】日ごろから水道水の節水を心掛けていますか



水道水の節水は9割の市民が意識
 現在の水道料金は、ほかの公共料金と比較してどう思いますかとこの問いに、「安い」と答えた人は17%だったのに対し、「高い」と答えた人は35%、「どちらともいえない」が40%

アンケート結果について

今回のアンケートの結果では、多くの皆さんから「水道料金が安い」という意見をいただきました。安全・安心な水をいつでも安定的に届けるために、必要な経費ではありますが、今後はできるだけ費用の削減に努めていきますので、ご理解をお願いします。

また、高い確率で発生するといわれている宮城県沖地震を含めた大災害発生時の水道の迅速な復旧や、災害時に必要と思われる情報についても意見をいただきました。今後、市では地震・湧水などの自然災害や水質事故、テロなどへの対策についての詳細を定めた「登米市水道事業危機管理対策マニュアル（仮称）」を、今年度中に策定する予定です。このマニュアルに基づき、危機管理訓練を定期的実施して、有事の際に迅速な対応ができる体制を整えていきます。

さらに、緊急時の飲料水確保と工事の際に断水すると支障がある施設への給水を行うため、「緊急用飲料水製造装置」「給水車（ローリー型2,000ℓ）」各1台を平成18年度に購入しています。さらに19年度についても各1台を購入し、災害に備えていきます。

今後も皆さんの意見や要望を伺っていきますので、調査票が配布された際には、ご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ】水道事業所水道管理課 ☎ 0220 (52) 3313

という結果でした。また、日ごろから水道水の節水を心掛けていますかの問いに関しては、「積極的に行っている」が16%、「できる範囲内で行っている」が74%と全体の9割を占めており、節水に対する意識の高さがうかがえました。

災害発生時は早急な復旧作業を望む声

地震や台風などの大災害発生時に水道が断水した場合、どのくらいの期間で復旧してほしいかとの問いに関しては、68%の人が「1日以内に復旧してほしい」と答えており、「3日以内」の30%と合わせると、ほとんどの人が素早い復旧を望んでいることが分かりました。

安全・安心に供給できる情報提供を

水道事業に関してどのような情報を提供してほしいかの問いには、「災害時の水供給に関する情報」が25%、「水質に関する情報」が22%、「断水予定区域の情報」が13%、「水道料金について」「節水方法の情報」が共に11%という結果でした。